

◆市民に親しまれる街路樹づくり

【街路樹の質の向上】

○「コリドー」や「みどりのネットワーク」として位置づけられる主要幹線では、街路樹を主体として市民に親しまれる道路空間を目指し、街路樹の質が向上する計画的な管理・育成・樹木の更新を行っていきます。

【街路樹のPRと保護・育成】

○市民とともに街路樹を守り・育てるため、街路樹の効果や効用をPRしながら、街路樹に対する市民のより一層の理解を得ていくとともに、植栽環境に適した管理・育成・樹木の更新を行っていきます。

◆花を活かしたみどりの美しい道路景観づくり

○北国らしい道路空間の創出を目指して、街路樹の保全と育成に加え、地域住民や企業との連携を通して植樹柵花壇やコミュニティガーデンのほか、コンテナガーデンなどのさまざまな手法を用いた緑化のしくみづくりを進めることで、街並みと一体となった連続的な花を活かしたみどりの道路景観づくりを、まちづくり活動の一環として推進します。

※コミュニティガーデン

公有地や民間の未利用地などを、地域の方々が協力しながら緑化した地域の「庭」。

<計画進行管理の指標>

*身近な道路がみどり豊かだと思っている市民の割合

*花づくりにかかわる市民の割合

プログラム⑤ 都心のみどりを充実します

札幌の顔である都心部を「環境首都・札幌」にふさわしい街並みにつくりあげるため、大通公園や創成川公園のほか札幌駅前通などの道路空間による軸と、公共施設による拠点的なみどりを主体に、民有地を活用したみどり豊かな景観づくりに取り組み、街並みのにぎわいやうるおいづくりを進めます。そのために、貴重な樹木などを守るとともに、北国の気候が織り成す色鮮やかな花を活用するなど、札幌らしい緑化を進めます。

◆札幌の顔となる景観の創出

○札幌の顔として市民が誇りに思い、訪れる人が潤いと魅力を感じられる都心空間の創出のために、大通公園などを「特に重要なみどりの軸」、西2丁目線などを「その他の主なみどりの軸」とするほか、市役所本庁や時計台、道庁前庭、北大植物園などを拠点として、札幌の顔となる都心部における樹木を主体とした美しい景観を創出します。

◆都心部のみどりの創出

【まちづくりに合わせたみどりの創出】

○みどりを創出するスペースの少ない都心部において、さまざまな空間でのみどりの創出を進めるため、公園緑地や道路などの公有地のほかに、創世1.1.1.区などのまちづくりにあわせて質の高いみどりを確保していきます。

【民有地での緑化の推進】

○地区計画などの各種制度の運用、他部局や民間との連携のほか、さまざまな支援を活用して、事業者へのインセンティブ(行動を促す動機づけ)を確保しつつ、景観に配慮した建築物緑化やオープンスペースの緑化を進めるなど、民有地を活用したみどり豊かな景観づくりを推進します。

※特に重要なみどりの軸

大通公園、創成川公園、駅前通、北3条通

※その他の主なみどりの軸

西2丁目線、西3丁目線、北4条通、北5条通など

※創世1.1.1.区(そうせいさんく)

都心の骨格軸である大通と創成川通の交差部にある創世交流拠点(北1西1、大通西1、大通東1)の総称。

※景観重要樹木

景観法に基づき、景観計画区域内の景観形成上重要な樹木を指定し、地域の個性ある景観づくりのために保全する制度。

※保存樹木制度

樹木又は並木であって、由緒由来のあるもの、学術的価値の高いもの又は美観風致を維持するため必要なものを保存樹木又は保存並木として指定する制度。

◆都心部の象徴となる樹木の保存

○都心部の象徴的な景観を創りだすとともに、札幌の歴史を物語る貴重な樹木などの保全を、公有地のみならず民有地においても進めます。また、景観や環境づくりのほか、人への安らぎや憩いを与えるといった都市におけるみどりの機能の大切さを積極的にPRすることで、市民の理解と協力を得ながら、景観重要樹木や保存樹木の制度により保全に取組みます。

◆札幌らしい緑化の推進

【コンテナガーデンによる街並みづくりの推進】

○都心部における札幌らしい景観づくりの取組みとして、花やコニファーを用いたコンテナガーデンなどを活用した街並みづくりを、市民や企業との連携のもと進めます。

【建築物緑化、札幌らしい緑化の推進】

○北国の積雪寒冷地の気候に適合した建築物緑化技術の開発や建築物緑化導入に対する事業者への支援制度を整えながら、公有地のみならず民有地においても、気候風土や都市環境に合った札幌らしい緑化を進めていきます。

<計画進行管理の指標>

- * 都心部樹林率(再掲)
- * 都心部がみどり豊かであると感じている市民の割合(再掲)
- * 企業・大学などとの連携事業数(再掲)
- * 景観重要樹木や保存樹木の指定数

※オープンスペース

公園・広場・河川・農地など、建築物などによって覆われていない空間。

※地域コミュニティ

コミュニティは、地縁、血縁、文化的背景、価値観などにもとづく共同体であり、そのうち、地縁的な要素の大きいものを地域コミュニティとする。

※コミュニティガーデン

公有地や民間の未利用地などを、地域の方々が協力しながら緑化した地域の「庭」。

※CSR

(Corporate Social Responsibility)

(コーポレート・ソーシャル・レスポンシビリティ)企業の社会的責任。企業は社会的な存在であり、自社の利益、経済合理性を追求するだけでなく、ステークホルダー(利害関係者)全体の利益を考えて行動するべきであるとの考え方であり、行動法令の遵守、環境保護、人権擁護、消費者保護などの社会的側面にも責任を有するという考え方。

プログラム⑥

地域らしい身近なみどりを創り・守り・はぐくみます

家庭をはじめとする地域の様々なオープンスペースにおいて、各種制度を活用するほか、市民・活動団体・学校・企業などと連携しながら、地域のみどりを保全・創出と活用を進めていくことで、地域の歴史や文化と結びついた景観づくりや、災害に強い地域環境づくりを進めるとともに、地域のコミュニティの醸成にもつなげていきます。

◆花を活かしたまちづくりの推進

○花を活かしたみどりづくりをきっかけとした特徴ある地域づくり・まちづくりを目指して、さまざまな施策を活用しながら、家庭や地域・活動団体・学校・企業の活動と連携し、地域の歴史や文化と結びついた独自の景観づくり、さらには、地域コミュニティの醸成へもつなげる取組みを推進します。

◆身近なみどりの創出のしくみづくり

【市民・活動団体が参画しやすいしくみづくり】

○植樹柵での花づくりや未利用地でのコミュニティガーデンづくり、公共施設や公共未利用地、民間の空き地などにおける地域のみどりづくりなど、市民や活動団体が、主体的に地域のみどりづくりに参画しやすいしくみづくりを進めます。

【企業が参画しやすいしくみづくり】

○地域におけるみどりづくりに対する企業の参画を促すため、活動に対するインセンティブ(行動を促す動機づけ)の創出やみどりづくりに関する情報提供を行うなど、CSR(企業の社会的責任)活動を支援するしくみづくりを進めます。

【市民一人ひとりの取組み推進】

○みどり豊かなまちづくりに向け、公園緑地や街路樹の整備といった行政の取組みに加えて、公園、植樹柵、未利用地など、地域のオープンスペースを活用した市民による植樹やガーデニングなどの地域や家庭における市民一人ひとりの取組みを積極的に進めます。